

1 題材名 「季節の変化に合わせた衣服の着用と住まい方」 B衣食住の生活 C消費生活・環境

2 題材の目標

- (1) 季節や状況に応じた日常着の快適な着方と手入れの仕方、環境に配慮した季節の変化に合わせた住まい方などについて、基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(知識及び技能)
- (2) 夏における日常生活の中から衣生活・住生活について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付ける。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、夏における快適な衣服の着用と住まい方について工夫する実践的な態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・季節や状況に応じた日常着の快適な着方と手入れの仕方、環境に配慮した季節の変化に合わせた住まい方などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・夏における日常生活の中から衣生活・住生活について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族の一員として、生活をよりよくしようと、夏における快適な衣服の着用と住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し実践しようとしている。

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領解説家庭編（平成29年7月）に示されている内容B衣食住の生活(4)ア(ア)「衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解すること。」、イ「日常着の手入れが必要であることや、ボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解し、適切にできること。」と(6)ア(ア)「住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。」、イ「季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、適切な住まい方を工夫すること。」、さらに内容C消費生活・環境(2)イ「環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。」を複合的に関連させて扱う構成となっている。

生活の営みに係る見方・考え方のうち、それぞれの内容に共通である「快適」の視点で生活事象を捉える学習活動を取り入れることで、快適な着方や住まい方についての基礎的・基本的な知識を身に付けられるようにする。また、「快適な着方」と「快適な住まい方」の取組の科学的な根拠を明らかにするための実験や実習を題材の中に位置付けたり、ICT機器を活用し、本題材にとって有益な動画の視聴をしたりして、快適な環境を整えるための多面的な視点を獲得した上で、各家庭での実践につなげたい。さらに、個々の家庭における実践報告会を通して、暑い季節を快適に過ごすための方法についてより深く考えられるようにして、家庭生活を大切にする心情や、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育んでいきたい。

(2) 児童観

表1 夏の暑さ対策に関する実態調査 (令和**年6月8日実施、第6学年*組31人)

設 問	回 答
① 夏をすずしくさわやかに過ごすために、どのような方法を知っていますか。 【記述式・複数回答】	・クーラーをつける 18人 ・窓を開ける 13人 ・帽子をかぶる 11人 ・夏服を着る 4人 ・その他(電気を消す、冷たい物を食べる等) ・扇風機 17人 ・カーテンを閉める 11人 ・日陰に入る 6人
② どうして①で答えたことをしているのですか。 【記述式・複数回答】	・家でいつもやっているから 19人 ・テレビやインターネット等で知ったから 6人 ・その他(誰かがやっているのを見た、何となく知っていた等)

表1は、児童の家庭で行っている夏の暑さ対策に関する実態調査の結果である。本学級の児童は気温や湿度が高い日本の夏を快適に過ごすために、各家庭において様々な生活の工夫を行っており、日常的で身近な取組であることが分かった。しかし、そのほとんどが家族やメディアから得たままの情報をそのまま実践しているものであり、科学的な根拠を理解した上での実践の記述はなかった。また、個別の聞き取り調査によると、児童の働きかけからによるものはほとんどなかった。

(3) 指導観

前述の児童の実態を踏まえ、本題材では「快適な着方」と一体化を図りながら、「快適な住まい方」を中心に学習を進めていく。まず、夏を涼しくさわやかに過ごすための着方や住まい方の工夫を、これまでの生活経験をもとに児童自らに気付かせていきたい。また、ICT機器や視聴覚教材を活用して空気の動きと太陽光の量を調整する大切さなどについて確認し、科学的な根拠を視覚的にも理解できるようにしたい。それらの知識を基にして、夏季休業中における各家庭での実践につなげ、自らの働きかけによって住環境が変化したり、家族が快適に過ごすことができる反応を受け止めたりすることを通して、本題材のねらいに迫りたい。

5 題材の指導計画(6時間扱い)

時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法等(・は指導上の留意点) ○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面
1	<題材を貫く問い> 夏をすずしくさわやかに過ごすためには、どのような工夫ができるだろうか。 <学習課題> 暑い夏でも快適に過ごせる場所を探してみよう。 ・本題材の学習の見通しをもつ。 ・学校の中を探検し、涼しい場所を探し出す。《グループ活動》 ・なぜ涼しい場所だと感じたのか、その理由とともに探検した結果を発表し合う。 ・発表をもとに、学校の中の涼しい場所の特徴をまとめる。 <まとめ> 風が通っていたり、日かげがあったりする場所はすずしい。 ・学習カードに振り返りを記入する。				○ 態：探検活動に興味・関心がもてない児童については、学校での生活経験を通して涼しいと感じた場所はないか、冬に寒いと感じた場所はないか問いかけ、学習意欲を喚起する。【観察】 ・学校の涼しい場所を探して気付いたことや感じたことなどを中心に記述できるように、振り返りの視点を示す。

2 3	<学習課題> 夏のすずしい衣服の着方と、衣服を快適に整える方法を身に付けよう。 ・前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。 ・教科書のイラストを用いて、涼しい衣服の着方と住まい方の工夫点を探し出して付箋に記入し、その箇所に貼る。《個人活動→グループ活動》 ・付箋をもとに、特に涼しい着方の工夫をまとめる。 ・半袖Tシャツの手洗い洗濯の仕方を確認する。 ・半袖Tシャツを手洗い洗濯する。 <まとめ> そで口が大きく開いてたり、麦わら帽子などをかぶったりすることで、すずしく過ごすことができる。 ・学習カードに振り返りを記入する。	◎	知：季節や状況に応じた日常着の快適な着方と手入れの仕方について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。【ワークシート、観察】 ・涼しい着方の工夫点を見付けたり、手洗い洗濯をしたりして気付いたことや感じたことなどを中心に記述できるように、振り返りの視点を示す。
4 5	<学習課題> 暑い夏を快適に過ごす住まい方の工夫について、くわしくなろう。 ・前時までの学習を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。 ・視聴覚教材を用いて、夏を快適に過ごす住まい方の工夫について知る。 ・視聴覚教材の視聴を通して、涼しい住まい方の工夫をまとめる。 <まとめ> 空気の動きや太陽光の量を調節したり、打ち水をしたりすることで、すずしく過ごすことができる。 ・夏季休業中のチャレンジ課題（実践レポート）について確認する。 <夏季休業中のチャレンジ課題> これでバッチリ快適！夏の暮らし！！ ・夏季休業中のチャレンジ課題（実践レポート）の計画を立てる。 ・学習カードに振り返りを記入する。	◎	知：環境に配慮した季節の変化に合わせた住まい方などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。【ワークシート】 思：夏における日常生活の中から衣生活・住生活について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考えている。【チャレンジ課題】 ・チャレンジ課題（実践レポート）への取組に向けた意欲などを中心に記述できるように、振り返りの視点を示す。
<夏季休業中のチャレンジ課題> これでバッチリ快適！夏の暮らし！！			
6 本時	目標：夏を涼しくさわやかに過ごすための話し合いを通して、様々な工夫の効果や取り組みやすさにふれて、家族の一員として自らの家庭生活をよりよくしようとする。 <学習課題> これでバッチリ快適！夏の暮らし！！ ～私のさわやか生活を 教えようじゃないか！？～		・学習意欲につながるように、チャレンジ課題（実践レポート）を事前に目を通しておき、児童の意欲的な取組を称賛する言葉かけを行う。

- 1 本時の学習の見通しをもつ。
- 2 グループで、チャレンジ課題（実践レポート）を4つに分類する話し合いをする。

〔4つの分類の視点〕

- ・「手軽な取組」
- ・「地球に優しい取組」
- ・「アイデア抜群の取組」
- ・「効果が大きい取組」

〔ホワイトボードに分類する〕

予想される分類の例：

手軽な取組 ① ④ ⑮ ⑱ ⑧ ⑳	地球に優しい取組 ⑰ ⑦ ⑫ ⑤ ⑯
アイデア抜群の取組 ⑭ ⑲ ㉒ ㉔ ㉑	効果が大きい取組 ③ ⑬ ⑥ ⑩

*①～㉑はチャレンジ課題（実践レポート）の番号

- 3 「私のいちおし！」を決め、選んだ理由とともに発表する。

「私のいちおし！」は、〇番の実践レポートです。
その理由は、・・・・・・・・・・だからです。

- 4 学習カードに、本題材を通して学んだことを記入し、理由とともに発表する。

来年の暑い夏を快適に過ごすために、〇番の実践レポートの取組にあった〇〇〇のような工夫を取り入れたいと考えています。
その理由は、・・・・・・・・・・だからです。

- ・本題材のゴールが再確認できるように、学習カードをもとに、これまでの学習を振り返る時間を設ける。

- ・各家庭の事情に配慮して扱うために、チャレンジ課題（実践レポート）を事前に確認しておくとともに、児童の実態を十分に把握しておく。
- ・チャレンジ課題（実践レポート）に対する感想を活発に発言したり、分類の話し合いを円滑に進めたりできるように、司会を決め、話し合いの流れを提示しておく。
- ・多種多様な取組の情報が整理できるように、分類の視点を明確に提示する。さらに、「手軽な取組」は赤色、「地球に優しい取組」は緑色、「アイデア抜群の取組」は黄色、「効果が大きい取組」は水色の分類視点の見出しにして、視覚的にも分類しやすくする。

- ・自信をもって発表できるように、学習カードに「私のいちおし！」に選んだ理由をまとめる時間を設ける。
- ・児童一人一人が自分の考えを大切にできるように、机間指導で児童のまとめを称賛する。

◎

思：実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学習カード】

◎

態：家族の一員として生活をよりよくしようと、快適な衣服の着用と住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し実践しようとしている。 【観察、学習カード】